

行政の結婚・子育てサポート体制

わかやま出会いの広場

結婚したいという気持ちはあるけれど、なかなか理想の相手と巡り会えないという独身の方々を対象に、県が婚活イベントを主催したり、様々な形で縁結びを応援する「わかやま婚活応援隊」、「わかやま結婚サポーター」などの事業を行っています。



子育て世代包括支援センター

妊娠期から子育て期にわたるまで、様々な悩みを気軽に相談できる総合的なワンストップ窓口です。保健師や助産師などの専門職を配置し、様々な相談への対応や情報提供、関係機関との連絡調整などを行います。

紀州っ子いっぱいサポート

県と市町村が協力し、2人目以降の子供を養育されている家庭の経済的負担を軽減する事業を実施しています。

【保育料等の無償化】【一時預かり等の利用料の助成】
※所得制限などそれぞれ対象条件があります。市町村によって実施状況は異なりますので、ご確認ください。

在宅育児支援

県と市町村が協力し、公的支援を受けずに2人目以降の0歳の子供を在宅で養育されている家庭を対象にした支援制度を実施しています。※所得制限など対象条件があります。市町村によって実施状況は異なりますので、ご確認ください。

子育て支援パスポート

パスポートを提示すると、協賛店舗が事前に設定する割引や特典等の優待サービスを受けることができます。家族の絆を深めるとともに、社会全体で子育て家庭を応援する気運の醸成を図ることを目的として実施しています。



※連絡先等の詳細な情報は、ポータルサイト「わかやま子育ての広場」で確認して下さい。

多様なニーズに対応した支援

一時預かり
保育所等において、保護者の急病や緊急な用事、リフレッシュの時などのために、乳幼児を一時的に預かるサービスです。実施している市町村にお問い合わせください。

放課後児童クラブ
保護者が昼間家庭にいない児童について放課後等に小学校や児童館などで過ごすことができるようになっています。

地域子育て支援拠点
公共施設や保育所など地域の身近なところで気軽に親子の交流や子育て相談、情報提供などを行っています。

病児・病後児保育
保護者の勤務の都合等により、病気の子供をみられない場合に、一時的に子供を預かる事業を実施しています。実施している保育所など、詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせ下さい。

ファミリーサポートセンター
“育児の援助を受けたい人”(依頼会員)と、“育児の援助を行いたい人”(提供会員)が会員登録し、地域において相互に助け合う有償ボランティア組織です。市町村が設立し、会員の募集・登録、相互援助活動に関するコーディネート、アドバイス等を行っています。

さいちゃんの子育て応援広場
子育ての疑問はありませんか？
さいちゃんが24時間365日お答えします！
こんな疑問にお答えします！
LINEでいつでも解決！



知っていますか？

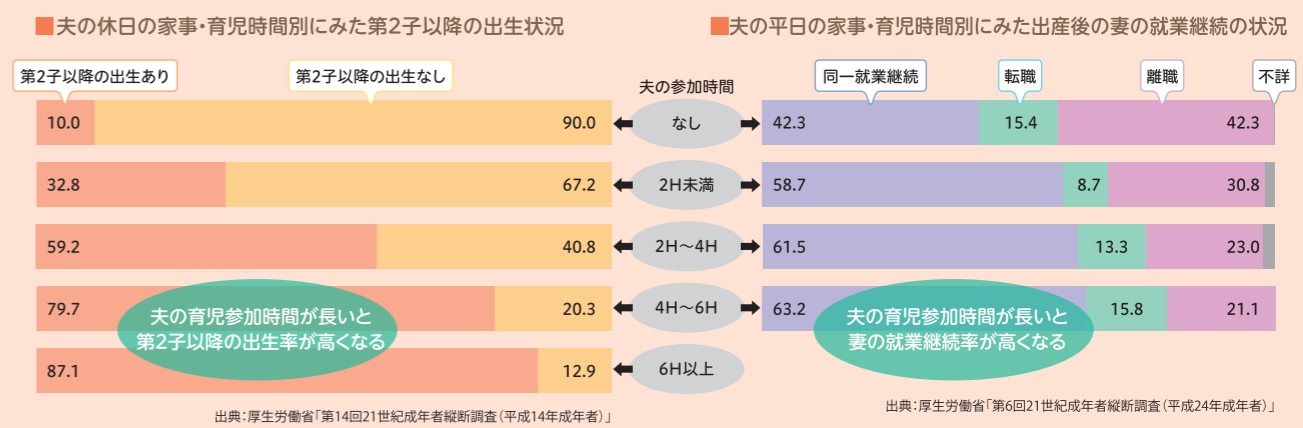
男性の家事・育児への参加の重要性



夫婦の共働きが増えた昨今、子育て家庭を取り巻く環境には色々な課題がありますが、家庭生活においては男女が家事・育児へ共同して参画することが重要と考えられます。それでは男性の家事・育児への参加によるプラスの影響と現状はどうなっているのでしょうか。

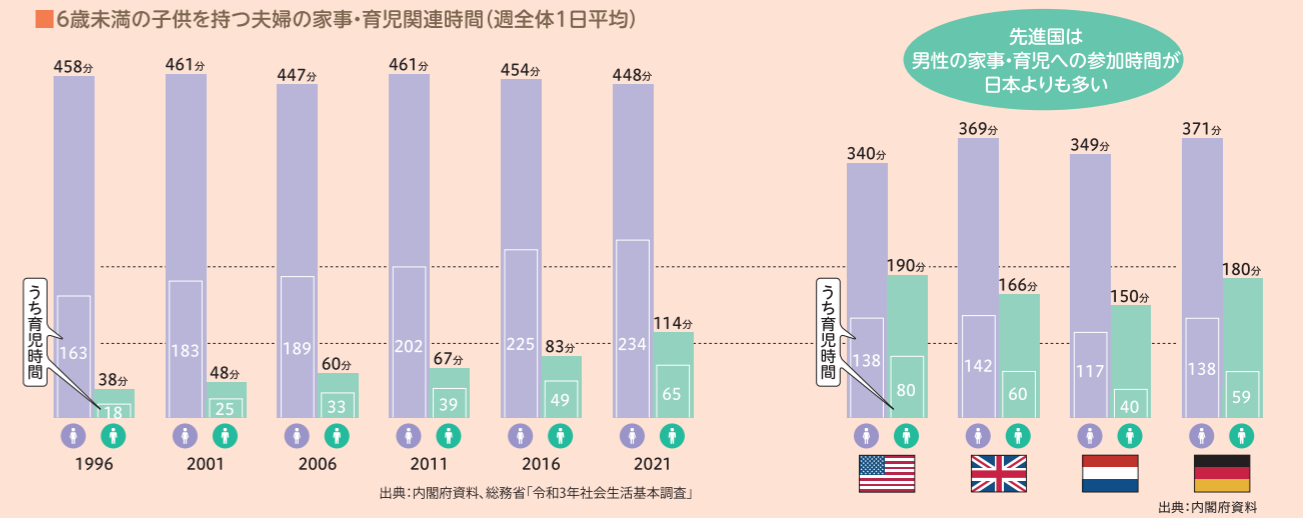
2人目以降の子供の出生・妻の同一就業継続には、夫の家事・育児が影響

夫の休日の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生率が高くなり、夫の平日の家事・育児時間が長いほど、出産後の妻の同一就業継続割合は高く(妻の離職割合は低く)なる傾向です。

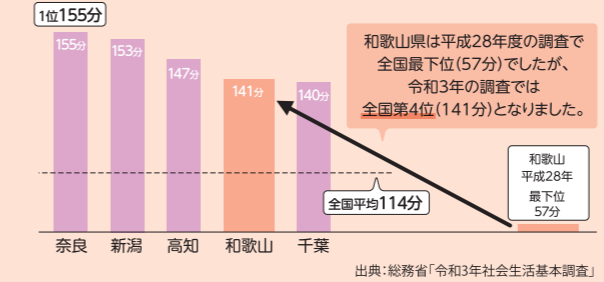


日本の男性の家事・育児時間は短い

日本の男性の家事・育児時間は増加傾向ではあるものの、女性と比較すると約1/4であり圧倒的に短く、世界的に見ても先進国の中で最低の水準にとどまっています。



6歳未満の子供を持つ夫の家事・育児関連時間の都道府県における順位(週全体1日平均:分)



企業同盟における取組内容



男性が育児に参加しやすい環境を作っていくために、男性の育児と仕事の両立を積極的に促進する企業の事例紹介を行うセミナーや、「イクメン・イクボス」推進につながるような出前講座・研修を実施しています。

2022年11月25日に開催されたセミナーの様子